２　火薬類譲受許可申請

火薬類譲受許可申請書

申 請 者　火薬類を譲り受けようとする者※。
※者とは、個人（自然人）であるか法人であるかを問わない。（「火薬類取締法令の解説」参考）

申 請 先　譲り受けようとする者の住所を管轄する消防署（安芸太田出張所含む。）であるが、譲り受ける火薬類の消費地（消費地が 2 以上あるときはその主たる消費地）が特定しており、かつ、その消費地を管轄する消防署があるときは、当該消防署となる。

譲受期間　有効期間は、規程第 5 条（火薬類の許可手続）第 6 項により、1 年以内とする。

注意事項　コンクリート破砕器に伴う申請の場合、同一の消費地において 1 日につき 150 個以下であれば譲受許可のみでよいが、県運用により、消費地が不定で、かつ複数ある場合、その合計数量は 2,000 個以下とする。

例）消費地不定で、広島県内 20 ヶ所（1 ヶ所の消費量は 1 日につき 120 個）で消費する場合、譲受許可のみでよいが、県運用により、合計数量が 2,000 個を超えるため、2,000 個以下にするよう指導する。

記入例

様式 0-2

火薬類譲受許可申請書

令和○○年○○月○○日

広島市消防局長　様

（代表者）広島市○○区○○町○丁目○番○号
株式会社○○○○
氏名　代表取締役社長　○○　○○

名称		株式会社○○○○
事務所所在地（電話）		広島市○○区○○町○丁目○番○号（TEL○○○-○○○-○○○○）
職業		建設業（広島県知事 許可（般-○○）第○○○○○号）
（代表者）	住所 氏名 （年齢）	広島市○○区○○町○丁目○番○号 ○○　○○　（○○歳）
火薬類の種類及び数量		建設用鉄打銃用空砲　１，８００個
譲受目的		建設工事
譲受期間（一年を超えないこと）		自　令和○○年○○月○○日 至　令和○○年○○月○○日
貯蔵又は保管場所		広島市○○区○○町○丁目○番○号 株式会社○○○○事務所内鍵付きロッカー
消費に関する事項	目的	建設工事
	日時（期間）	自　令和○○年○○月○○日 至　令和○○年○○月○○日　（○○時～○○時）
	場所	県内一円

注　この用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。

・申請者は、法人の場合は代表権のある者（代表取締役等）、個人の場合は本人とする。
・法人の場合で、代表者以外（支店長、所長及び現場代理者等）が申請するときは、委任状の添付が必要である。委任する場合の記入は 13、14P を参考とする。

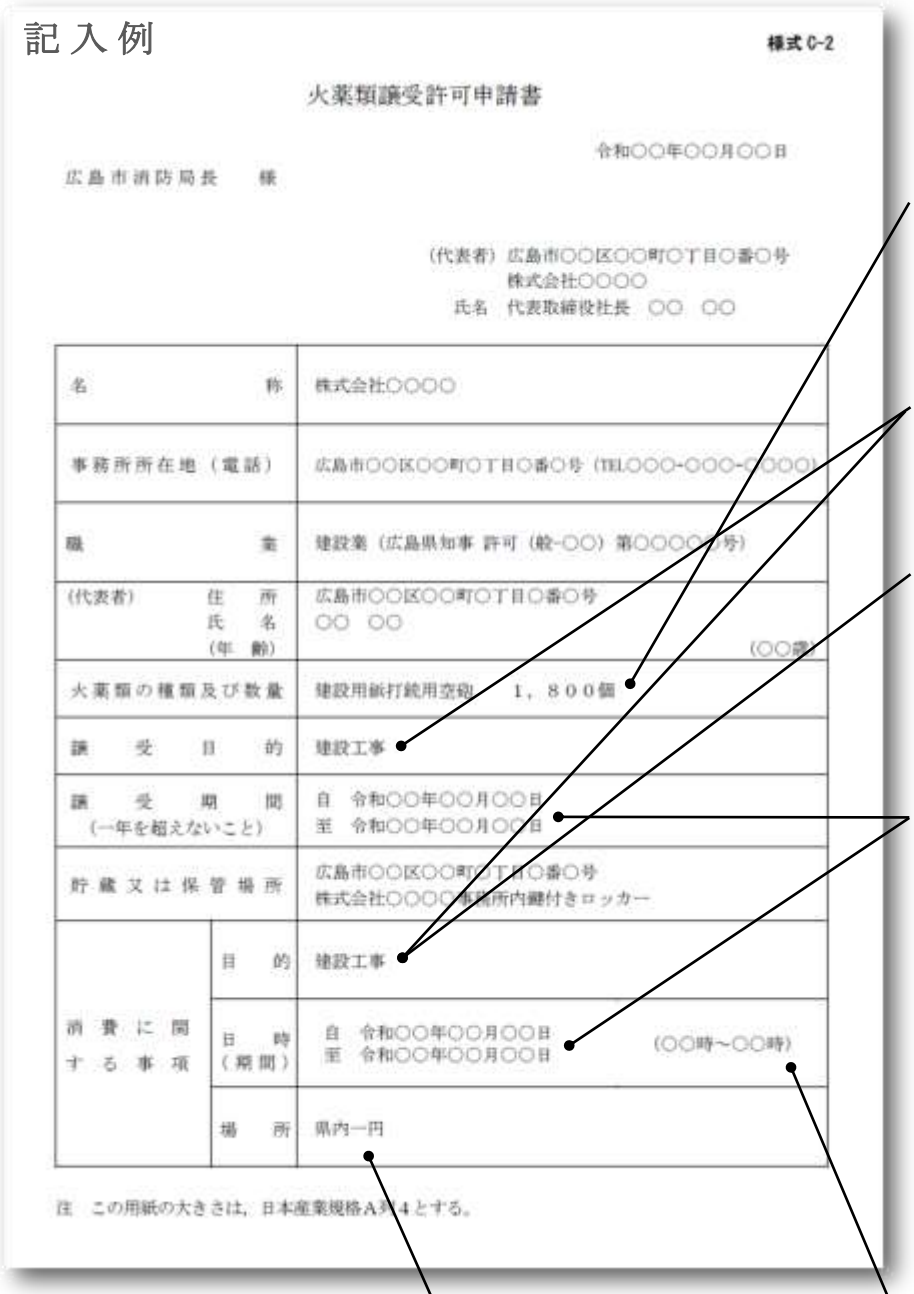
名称は、法人の場合は登記簿上の法人名（会社名）を、個人の場合は氏名を記入する。

・職業は、申請が会社等の場合は産業分類による事業名を、個人の場合は職業を記入する。
例）採石業、土木建設業等
・職業が建設業等の場合で、建設業法等に基づく登録を受けているときは、欄右側に登録番号を併せて記入する。

事務所所在地は、法人の場合は本社所在地、個人の場合は住民票がある場所を記入する。

住所は、申請者の住民票がある場所を記入する。ただし、法人の場合は本社所在地でもよい。

2　火薬類譲受許可申請



記入例

様式 0-2

火薬類譲受許可申請書

令和○○年○○月○○日

広島市消防局長　様

（代表者）広島市○○区○○町○丁目○番○号
株式会社○○○○
氏名　代表取締役社長　○○　○○

名称		株式会社○○○○
事務所所在地（電話）		広島市○○区○○町○丁目○番○号（TEL○○○-○○○-○○○○）
職業		建設業（広島県知事 許可（般-○○）第○○○○○号）
（代表者）	住所 氏名 （年齢）	広島市○○区○○町○丁目○番○号 ○○　○○ （○○歳）
火薬類の種類及び数量		建設用紙打統用空砲　１，８００個
譲受目的		建設工事
譲受期間（一年を超えないこと）		自　令和○○年○○月○○日 至　令和○○年○○月○○日
貯蔵又は保管場所		広島市○○区○○町○丁目○番○号 株式会社○○○○事務所内鍵付きロッカー
消費に関する事項	目的	建設工事
	日時（期間）	自　令和○○年○○月○○日 至　令和○○年○○月○○日　（○○時～○○時）
	場所	県内一円

注　この用紙の大きさは，日本産業規格A列4とする。

コンクリート破砕器に伴う申請で、消費地が決まっておらず、1 日 150 個以下を消費する場合は、2,000 個以下とする。

譲受及び消費目的は同一とし、道路改良工事、橋梁工事、災害復旧工事等のように実態がわかるよう記入する。

コンクリート破砕器に伴う申請で、消費地が決まっておらず、1 日 150 個以下を消費する場合は「1 日の消費量は 150 個以下」と併せて記入する。

・譲受及び消費期間は同一で 1 年以内とする。
・譲受期間（消費期間）を許可日からとする場合は、次の例による。
例 1）日付を空欄にして「許可日から 1 年間」と記入する。
例 2）自の日付を空欄にして「許可日から」と記入し、至の日付に予定する譲受（消費）終了年月日を記入する。

消費場所は、字や番地まで正確に記入する。場所が不定の場合は、広島県内で「○○○一円」と記入する。

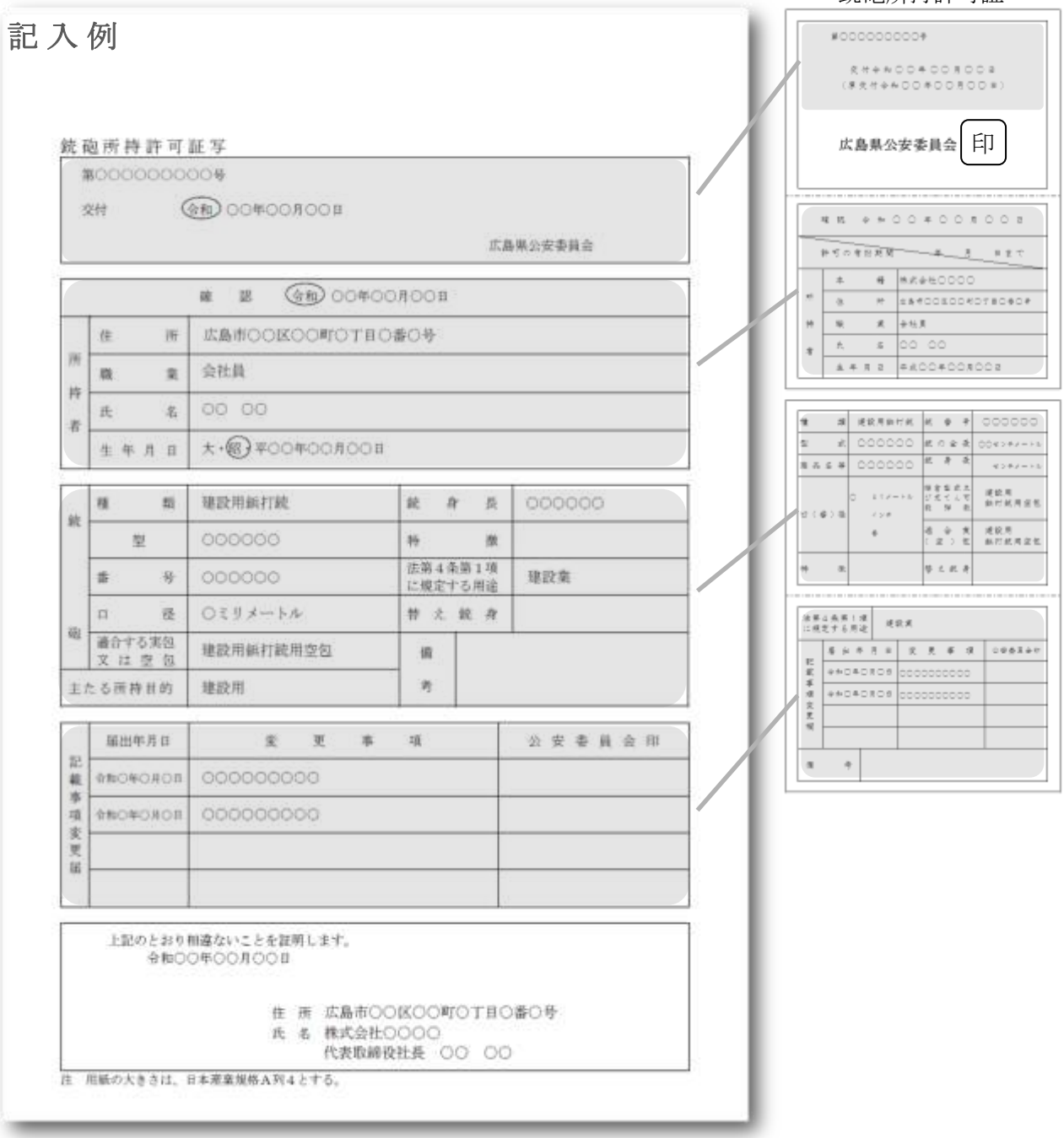
時間は、実際に火薬類を使用することが見込まれる期間を記入する。

２　火薬類譲受許可申請

他法令の許認可証の写し（建設用鋲打銃用空包の場合）

注意事項　銃砲所持許可証の該当部分を参考に記入する。

銃砲所持許可証



記入例

銃砲所持許可証写

第○○○○○○○○○○号

交付　令和　○○年○○月○○日

広島県公安委員会

確　認　令和　○○年○○月○○日

所持者	住　所	広島市○○区○○町○丁目○番○号
	職　業	会社員
	氏　名	○○　○○
	生年月日	大・昭　平○○年○○月○○日

銃砲	種　類	建設用鋲打銃	銃身長	○○○○○○
	型	○○○○○○	特　徴	
	番　号	○○○○○○	法第４条第１項に規定する用途	建設業
	口　径	○ミリメートル	替え銃身	
	適合する実包又は空包	建設用鋲打銃用空包	備考	
主たる所持目的		建設用		

	届出年月日	変　更　事　項	公安委員会印
記載事項変更届	令和○年○月○日	○○○○○○○○○	
	令和○年○月○日	○○○○○○○○○	

上記のとおり相違ないことを証明します。
令和○○年○○月○○日

住　所　広島市○○区○○町○丁目○番○号
氏　名　株式会社○○○○
　　代表取締役社長　○○　○○

注　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ列４とする。